

「さくらネコプロジェクト」猫の世話で最低限やってもらうこと

①決まった場所で決まった時間に決まった量のエサをあげる

時間と場所を決めて、猫が食べきれだけの量のエサを、地面を汚さないように容器に入れ、新鮮な水と一緒に与えてください。

自分の家の敷地以外でエサやりを行う場合は、必ず土地所有者の許可を取りましょう。

②エサを放置しない

エサやりをしている間はその場において、猫が食べ終わるのを待ちます。食べ終わったら掃除と容器の回収を行います。

エサを置きっぱなしにすると、カラスや他の猫などが集まる原因になり、衛生環境が悪化します。

③エサやりをする場所の近くに、猫のトイレを作って維持管理する

猫のフンは、猫が人から嫌われる大きな原因です。

自分の家の庭や、普段歩く道にフンが落ちていれば、嫌な気分になるのは当然です。

猫はエサを食べた場所の近くでフンをする習性があります。エサをあげる場所のそばに猫のトイレを作ることで、他所でフンをする頻度を減らすことができます。

□猫のトイレ

○用意するもの

- ・プランター ・土や砂
- ・鉢底ネット



※プランターによってはセットになっている場合もあります

- ・(あったほうが良い) マタタビ ※猫が寄り付きやすくなります。
- ・(あったほうが良い) ペットの排泄用の消臭剤 ※匂いが薄まります

○作り方や使い方

- (1) 鉢底ネットをプランターの底に敷く。
- (2) プランターに土や砂を入れる。
- (3) (やった方がよい)土や砂の中にマタタビを混ぜ込む。
※マタタビがない場合は、猫のフンを混ぜ込む方法も効果的です。ただし、対象はそのフンをした猫に限ります。
- (4) 完成。
- (5) えさ場のそばに設置。※一か所だけではなく、何か所も置きましょう。
- (6) 猫はきれい好きです。
フンをされるたびに掃除して、定期的に土をふかふかにしてください。